

読売新聞の購読申し込みは

フリーダイヤル 0120-4343-81

 または <https://434381.yomiuri.co.jp/>


阿部一



柔道男子66キログラム級で金メダルを獲得した阿部一二三(28日、パリで)＝関口寛人撮影

柔道男子66キログラム級連覇

「妹の分まで」

【パリ＝読売取材団】パリ五輪は第3日の28日、柔道男子66キログラム級決勝が行われ、阿部一二三(26)（パーク24）がウイリアン・リマ（ブラジル）に一本勝ちし、2大会連続の金メダルを獲得した。

この階級の日本勢の連覇は2004年アテネ大会、08年北京大会を制した内柴正人以来。全競技を通じ、今大会で日本勢2個目の金メダルとなった。

阿部は東京五輪後、国際大会で負けなしのままパリ五輪に出場。2回戦と準々決勝は合わせ技で一本勝ちし、準決勝は優勢勝ち。決勝も合わせ技で一本勝ちした。

妹で同じく連覇を狙った女子52キログラム級の阿部詩(24)（パーク24）は2回戦でウズベキスタン選手に一本負けし、敗退した。

兄の一二三は優勝後、「最高の思いです。妹の分まで頑張りたい」と喜びを口にした。

